®は登録商標

# 使用者の声

「総合殺菌剤 フロンサイドSC」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介いたします。

総合殺菌剤
石原 フロンサイド® SC

## 【はくさい・キャベツ】長野県 三井さん

## 根こぶ病を寄せつけない心強い味方。作物を順調に生育させられるから等級を落とさず出荷できる。

JA長野八ヶ岳南牧支所そ菜部会の部会長を務める三井さんは、八ヶ岳の麓にある圃場で、はくさい・キャベツ・レタス・サニーレタスを生産しています。良い作物を作るうえでのこだわりは、丁寧な土づくりだといいます。「堆肥を入れて、化成肥料だけに頼らない土づくりを大切にしています。また、土壌消毒を行うことで、作物が最後までしっかり育つようにしています」。その土壌消毒の一環として、三井さんがはくさいとキャベツの根こぶ病防除で使用しているのが、フロンサイドSCです。

### 粉剤を手撒きしていた時代が一転、機械散布が可能になり効率が大幅向上。

「根こぶ病は作物を小ぶりにして等級を下げてしまう厄介な病害。その対策としてフロンサイド粉剤を使っていましたが、圃場一面を手で散布していたため、より省力性の高いフロンサイドSCに切り替えました。ブームスプレーヤで全面散布ができるので、労力が大幅に軽減されてすごく効率的になりました」。省力性に加え、効果の面でも確かな手応えを感じているといいます。「根こぶ病に感染すると品質が落ちてしまうので、等級を落として出荷するか、最悪の場合だと捨てることになります。でも、フロンサイド剤を使い始めてからは根こぶ病の被害に遭うことがなくなったので、作物をすべて同じ大きさで収穫できます。大きさが揃っていると、等級を落とさずに出荷できるのでとても助かっています」。





### 根こぶ病を発生させないために徹底予防。“最高の作物”づくりにフロンサイドSC。

根こぶ病は“厄介な病害”だからこそ、発生させないことが最重要です。「定植後に根こぶ病が発生してしまってからでは遅いので、定植前にしっかりとフロンサイドSCを使って予防を徹底するように意識しています。『これだけやって被害に遭ったらしょうがない』と思えるほどまでに予防しないと安心できないんです」と話し、他剤も使いながら念入りに防除しているそうです。

今後について、「最高の作物をつくる生産者になれるよう、一生勉強していきます」と話す三井さん。フロンサイドSCには大きな信頼を寄せており、「効果が抜群で、労力もかからないのでこれからも使っていきたいと思います」と力強く話してくれました。最後に、葉物野菜の一大産地をまとめる部会長として、「産地の野菜の品質の高さや、他産地に作物がない時でもしっかり作物があることをアピールしていきたいです」と目標を教えてくれました。

※取材時（2025年11月）における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

“使用者の声”はwebでもご覧いただけます